

**製品名: ICAD ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12335**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	36kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DFFA
別名	DFFA; DFF1; DFF45; H13; DNA fragmentation factor subunit alpha; DNA fragmentation factor 45 kDa subunit; DFF-45; Inhibitor of CAD; ICAD
遺伝子 ID	1676.0
SwissProt ID	O00273
免疫原	抗血清はヒト DFFA 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

**背景**

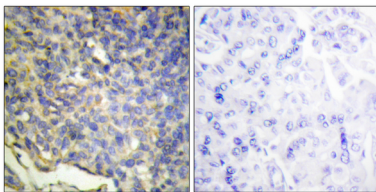
アポトーシスは、哺乳類の発生過程において、毒性のある細胞や不要な細胞を除去する細胞死のプロセスです。アポトーシスのプロ

セスは、細胞と核の収縮と断片化、そして染色体 DNA のヌクレオソーム単位への分解を伴います。DNA 断片化因子 (DFF) は、40 kD (DFFB) サブユニットと 45 kD (DFFA) サブユニットからなるヘテロ二量体タンパク質です。DFFA はカスパーゼ 3 の基質であり、アポトーシスにおける DNA 断片化を引き起こします。DFFA がカスパーゼ 3 によって切断されると、DFF が活性化されます。切断された DFFA 断片は、DFF の活性成分である DFFB から解離します。DFFB は、アポトーシスにおける DNA 断片化とクロマチン凝縮の両方を引き起こすことが分かっています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能:カスパーゼ活性化 DNase (DFF40) の阻害剤。 ,PTM:カスパーゼ 3 は DFF45 を 2 箇所で切断して活性因子を生成する。 ,PTM:DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による) 。 ,類似性:1 つの CIDE-N ドメインを含む。 ,サブユニット:DFFA と DFFB のヘテロ二量体。 ,

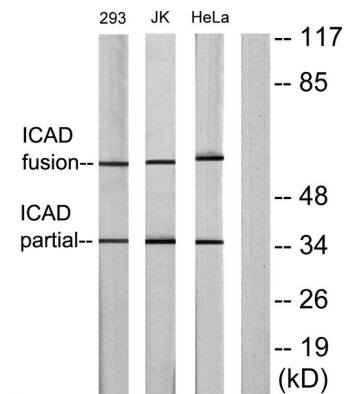
## 研究分野

アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;

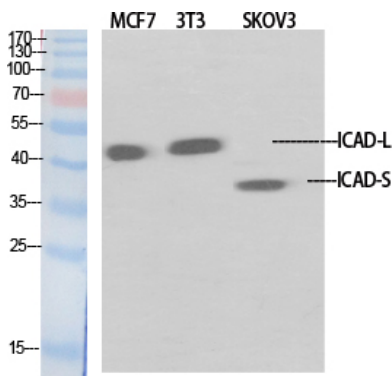
## 画像データ



DFFA 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



DFFA 抗体を用いた Jurkat 細胞、293 細胞、および HeLa 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 希釈の ICAD ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析

1: 1000 希釈の ICAD ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析

